

採用窓口

職業安定局総務課人事給与係 03-5253-1111 (内線5714)

採用実績

入省年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
人数	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
	2人	3人	2人	3人	3人	2人	1人	3人	2人	1人	4人	1人	5人	3人

(注：令和8年度は内定者数)

採用スケジュール

令和9年度採用予定者を対象とした、業務説明会や採用手続きのスケジュールは、人事院の「**国家公務員試験採用情報NAVI**」(<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>) や、**厚生労働省ホームページ** (https://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/kokka1/ningen_kagaku.html) に掲載されますのでご覧ください。

前回（令和8年度入省者対象）の実績は下記のとおり。
※令和9年度採用予定者を対象とした採用スケジュールは、前回と異なる場合があります。

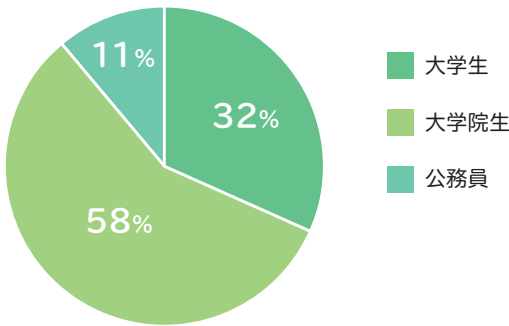


厚生労働省
ホームページ

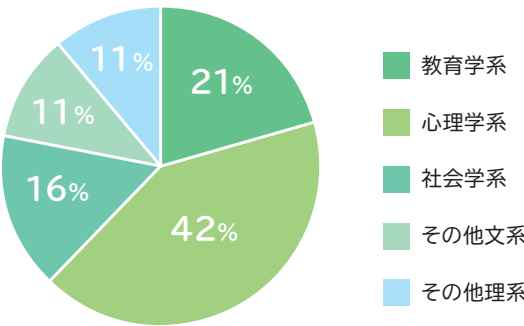


https://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/kokka1/ningen_kagaku.html

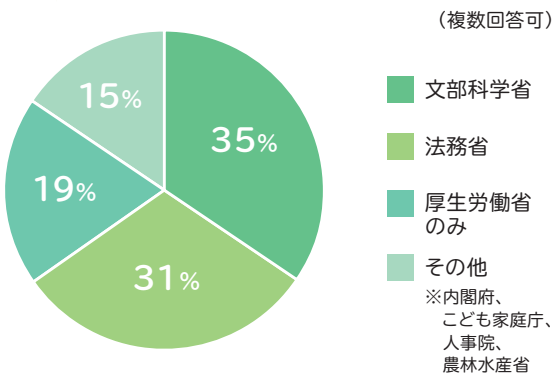
1 入省前は
何をしていましたか？



2 大学(大学院)の専攻は
何ですか？



3 厚生労働省以外に、官庁訪問で
訪問した省庁はどこですか？



4 入省前とのギャップは
ありますか？

- 入省前は国家公務員のみで仕事をするのだと思っていたが、民間企業や地方自治体からの出向者や、ハローワーク、労働局からの方のように多様なバックグラウンドを持っている方々と一緒に働いていること。
- 仕事の幅広さ。一口に「障害者職業訓練の担当者」といっても、午前中は調査研究事業を進める研究者、昼過ぎは周知広報策を検討する広報マン、夕方には研修カリキュラムの構成を進める教員のように、様々な業務に対して、その中核で関わる事ができる。
- 縦割り行政かと思っていたが、思ったより他部署や他課室と連携して何かを進めることも多い。
- 入省前に思っていた以上に女性の職員が多い。
- 入省前は、とても忙しいイメージがあったが、年休が取りやすくてちゃんと休みが取れる。

5 仕事をしていてどんなときに
やりがいを感じますか？

- 議員の方に政策を説明するときや、係で作成した資料が国会で活用されているとき。こういった場面は他の仕事ではなかなか経験できないと思う。
- 自分が携わった仕事の成果が、実際にハローワークの現場で活用され、役立てていただけていることを実感できたとき。
- 意識や意欲、経験値が高い方々から日々学びがあること。雇用や労働に関する日々の情報に関心を持ちつづければ際限なく、活躍できるフィールドが広がっているところ。多種多様の部署があり、雇用や労働に関して多角的かつ効果的な支援手段が多くある。
- 自分の意見や考えを認めてもらい、施策に反映できたとき。

6 厚生労働省に入省しようと
思ったきっかけは何ですか？

- 現場での支援ではなく、その現場を支える各種制度を扱いたかったから。
- 世の中色々なところで変化が加速しているが、大きい組織と大きい仕事の相関関係は簡単には揺るがないと考え、社会に大きく貢献できる大きい仕事がしたかったから。
- 障害、生きづらさなど様々な困難を抱える人たちの「働きたい」という思いを実現させること、そしてその「働く」を通じて人々の幸せを支えていきたいと思ったため。
- 官庁訪問時の職員の雰囲気になされたから。
- 青年期からのキャリア形成に関する施策に携わりたかったから。

